

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方
------	------------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	3企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	イッパンザイダンホウジンタニモモコバレエダン 一般財団法人 谷桃子バレエ団	団体ウェブサイトURL	https://www.tanimomoko-ballet.or.jp/
代表者職・氏名	代表理事・田代仁美		
制作団体所在地	〒 158-0083 東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 バロンズコート自由が丘B1	最寄り駅(バス停)	自由が丘
電話番号	03-6890-1180		
ふりがな 公演団体名	タニモモコバレエダン 谷桃子バレエ団	団体ウェブサイトURL	https://www.tanimomoko-ballet.or.jp/
代表者職・氏名	代表理事・田代仁美		
公演団体所在地	〒 158-0083 東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 バロンズコート自由が丘B1	最寄り駅(バス停)	自由が丘
制作団体 設立年月	2014年 7月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 田代仁美 理事 島貫宏昌 理事 高部尚子	(団体構成員) 団員:140名 団教師:11名、総務・制作:5名 (加入条件)アカデミー教師等による推薦、及び一般公募入団テストにより団幹部が協議、選考する。	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担当者置く	本事業担当者名	三木雄馬
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	濱口昌彦

<p>制作団体沿革</p>	<p>1949(昭和24)年、東京バレエ団のプリマバレリーナとして活躍していた谷桃子が独立し、谷桃子バレエ団を創立。 1997(平成9)年8月4日有限会社谷桃子バレエ団研究所として設立現在に至る。 創立以来、毎年のように自主公演を続け、2009年及び10年には創立60周年記念として、古典と創作による6作品の公演を行い、「レ・ミゼラブル」に対し第65回文化庁芸術祭大賞が授与された。 2014(平成26)年7月1日一般財団法人谷桃子バレエ団を設立。団の芸術活動及び古典、創作を含むクラシックバレエの普及を目的とし、近年ではDREAM PROJECTと称して全国の子供たちが本物のバレエに触れながら劇場での公演に参加する場所を提供し、育成にも意欲的に取り組んでいる。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年11月19日、平成23年11月10日、藤沢市民会館(1,380) 鶴沼高等学校「白鳥の湖」全幕 ・文化芸術による子供育成総合事業(巡回公演事業)B区分 令和元年～令和3年度 ・子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業 令和3年度 ・文化芸術による子供育成推進事業(巡回公演事業)A,C区分 令和4年度 ・文化芸術による子供育成推進事業(芸術家派遣事業) 令和4年度 ・文化芸術による子供育成推進事業 子供のための芸術鑑賞・体験再興事業 令和4年度 ・文化芸術による子供育成推進事業 文化施設等活用事業 			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年10月29日 沖縄県西崎養護学校 ・平成21年10月23日 徳島県立聾学校 ・平成23年10月13日 滋賀県立草津養護学校 ・平成24年10月15日 富山県立富山聴覚総合支援学校 ・平成29年11月16日 埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=wlfZ6-7XUPg</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 谷桃子バレエ団】

対象	小学生(低学年)	○					
	小学生(中学年)	○					
	小学生(高学年)	○					
	中学生	○					
企画名	名作バレエ【白鳥の湖】より ハイライト						
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	第1部 【体験と実演】クラシックバレエについての解説と練習風景の実演(35分)※児童体験有り 第2部 【白鳥の湖】ハイライト版(45分)※児童体験有り 「白鳥の湖」作曲:ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー 原振付:マリウス・プティパ, レフ・イワノフ 再演出/振付:谷桃子 再振付/高部尚子・三木雄馬 ハイライト版構成/脚本/演出:高部尚子 バレエミストレス:大塚礼子 バレエマスター:齊藤 拓 監修:赤城 圭				公演時間	95	分
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名				
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況				
演目概要	【第1部:体験と実演】と【第2部:白鳥の湖ハイライト版】で構成 第1部: 司会者が分かりやすくバレエの歴史や作曲家チャイコフスキーとバレエの関係を伝えます(体験内容)・バレエの基本動作・言葉を使わない”マイム”・男性が女性と踊る”バドゥ”にてサポート(男子生徒限定体験) 第2部: 悪魔ロットバルトによって白鳥に姿を変えられた王女オデットと、王子ジークフリートのはかなくも美しい恋の物語。年齢を問わず親しみやすい、チャイコフスキーの数々の名曲に乗せて踊られる全4幕構成の作品から、この企画では特に「4羽の白鳥」など代表的なヴァリエーションやグラン・パ・ド・ドゥ、隊列の美しいコール・ド(群舞)などが観られる典型的なバレエ・プラン(「白いバレエ」)の第2幕と、スペイン、チャルダッシュ(ハンガリー)など中世ヨーロッパ各国の民族色豊かな舞踏とともに、激しく技巧に富んだパを盛り込んだグラン・パ・ド・ドゥが踊られる華やかな第3幕を抜粋で上演します。 バレエの名作として名高い作品ながら、実際に観たことはないという人が多い「白鳥の湖」を題材に、基本的な稽古の積み重ねが芸術作品となる過程を実感いただき、また、総合芸術としてのバレエの美しさ、楽しさを体験いただくことができます。						
演目選択理由	「音楽もタイトルも聞いたことがあるけれど…」バレエといえば多くの人が真っ先に頭に浮かぶ「白鳥の湖」ですが、では、実際に舞台を観に行っただことがあるかと問われれば無い人が大多数です。全幕ではなく、初めて見る児童生徒にも、すでに見たことがある児童生徒にも楽しめるようにハイライト版として上演することで、名作と言われる理由を感じてもらい、今後の舞台観賞や、自身の夢のきっかけにしていきたいと願っています。						
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	本公演は二部構成となっており【第1部:体験と実演】では、団員とともにバレエの基礎レッスンである「バー・レッスン」と、男性ダンサーが女性ダンサーのポーズを支える「バドゥ」の応用編と、物語の進行に不可欠な「マイム」の実演に参加します。 【第2部:白鳥の湖】では、メイク・衣装付きで、第3幕の舞踏会の客人役で共演します。体育館の舞台は使用せず、平場(床)に舞台面を設営することで、観賞する生徒さんたちとの一体感を大切にしています。 また、バレエの出演者としての参加共演以外に、舞台を作る作業の見学も考慮します。安全性の問題から実際の作業への参加は困難ですが、舞台設営の為に搬出入や音響、照明などいろいろなスタッフが協力して一つの舞台を作り上げる過程を見学してもらいたいと思います。						
出演者	解説及び王妃役: 日原永美子、又は森本悠香 ダンサー: 別添参照						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者:	35	名	運搬	積載量:	4	t
	スタッフ:	25	名		車長:	8,8	m
	合計:	60	名		台数:	2	台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		4	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～12:30	13:30～15:25	15	15:30～17:00	17時00分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	5日	15日		5日	15日	
	11月	12月	1月	計	70日	
	15日	10日	5日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	30名
		鑑賞人数目安	500名



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。



【公演団体名 谷桃子バレエ団】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	250
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>ワークショップではバレエの基本の型と簡単なマイム(お芝居)を覚えて、体を動かしながら体験してもらいます。 実施場所は体育館、又は児童が体験するのに十分なスペースが取れるエリアで行っています。 床に座ることもあるので、屋外など天候に左右される場所での実施は理由を説明して、遠慮させていただいています。</p> <p>最初にバレエを経験したことがあるか? 観たことはあるか? といった部分から、身近のどのような文化や競技にバレエが関わっているのかを知ってもらいます。 次に体育でもやるようなストレッチを行います。ここにバレエのストレッチを織り交ぜて短い時間で起きる体の変化を体験してもらいます。 そこから、バレエの基本の足の「型」と手の「型」を教えて児童と一緒に音楽に合わせて振付をし、実際にバレエのレッスンを一緒にを行います。 チームに分かれてゲーム的な要素、音楽カウントの数え方などを織り交ぜながら、楽しんで学習と体験ができる内容となっています。 また、本公演で「共演」する際のベース部分もワークショップで学習するので、本公演までに児童生徒が復習しながら想像を膨らませて楽しみに待てるようになっていきます。</p> <p>実施時間は基本的に小学校45分、中学校50分の1時限分の時間となっています。 実施対象は本公演を鑑賞する児童生徒全員を推奨しています。広さ等の都合で学年を選ばなければならない場合には本公演で「共演」を予定している学年に受けてもらうことが効果的になります。</p> <p>さらに、ワークショップ時に本公演の演目に関わる楽曲をCDで学校に教材として提供しており、音楽の時間や、給食時間中などの放送の時間で活用してもらい、音楽に慣れていきながら、同時にどのような踊りなのか想像を膨らませられるように子供の「イメージする力」を引き出された状態で本公演の体験鑑賞に繋がるように工夫しています。</p> <p>ワークショップ時に本公演の※パンフレットを見ていただけるように準備を早めて作成しており、その中にはワークショップで学んだ基本の「型」やマイムが復習できるように掲載していますので、ワークショップ後に体験した児童生徒に改めて見ておいてもらうようにアナウンスをお願いしています。 ※別添2参照</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>芸術文化と言われると、少し身構えてしまう児童生徒も多いのが実際で、それ自体は芸術を認識している証拠でもあり、とても良いことなのですが、それだけではなかなか鑑賞しても楽しめるようになるまで時間がかかってしまうことが起きてしまいます。 ワークショップで、基本的なことを覚えて、ゲーム感覚で楽しみながら一緒に実施することで身構えてしまう距離感を取り除き、「興味」に変化させることが狙いです。 また、学校側と話し合った上でとなりますが、出来る限りワークショップから本公演までの期間が空かないようにお願いしており、新しく芽生えた「興味」が前途のCDを活用してさらに膨らみ、早く観たいとなっているタイミングで本公演を体験鑑賞することでより効果が期待できると考えています。 今後の児童生徒の成長の中で、文化芸術に対するファーストインスピレーションに「興味」の部分が大きくなっていくことも目的としています。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>実施内容にも記載のように、床に座ることや、体を動かします。 その為、服装に関してスカートではなくパンツスタイルでの体験をお願いします。</p> <p>また、こちらのワークショップでは教職員の先生もぜひ一緒に参加して体験していただくことを推奨しています。 その際に児童の変化を見ていただき、児童生徒の様子を本公演時までの準備のやり取りで教えていただけると、本公演での体験内容を児童生徒に合わせてアレンジすることも出来るため、協力をお願いしています。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名

谷桃子バレエ団

】

①本事業に対する取り組み姿勢

日本全国の、様々な環境にある児童生徒に、等しく舞台芸術に出会う機会となること。舞台芸術に関わるスタッフや出演者に直接に接することで、いろいろな立場で技術を習得した専門家が集まって一つの作品を作っていることなどを実感して頂き、舞台芸術への興味を広げてもらうきっかけとなることを目標とし、体験できる人数、鑑賞人数(設営見学含む)を安全に十分に注意をしながら行っています。

また、舞台芸術を鑑賞することにより得られる感動や喜び、ハラハラする緊張感や物語の想像など、子どもたちの情操に働きかける公演となるよう心がけワークショップから一貫性のある内容で実施しています。

自ら劇場へ出かけて鑑賞するのみでは無く、舞台芸術に関わる仕事を一つの可能性として捉えてもらうことにより、新しい夢が生まれ、それがさらに舞台芸術の発展につながるよう考えています。

更に、生徒数が少ないなど開催校の状況によっては各地域の方々にも本公演の観賞にご参加頂けるよう促し、児童生徒と一緒に舞台芸術に触れて頂きながら、芸術文化の価値や重要性について広くご理解頂けるよう努めて参りたいと思います。

児童生徒のなかには、地域柄自ら劇場へ足を運ぶことはないんじゃないか?と考える人がいらっしやっただとしても、成長された際にたとえ子どもの頃であったとしても‘バレエを観たことがある’と言える大切な思い出となるよう努めながら、バレエ団としても子どもたちの率直な反応を通して、人との繋がりを感じ、心を豊かにすることを目的として取り組み続けたいと考えております。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

本事業の「ワークショップ」と「本公演」の2段階となる実施の特性を活かすためにも、ワークショップの参加者が本公演を体験鑑賞することで、より効果をもたらすことを各学校に丁寧に説明しています。実施の流れとしまして、

- ①ワークショップ事前にプログラム配布
- ②ワークショップ時にCD提供(音楽学習用)
- ③本公演

という流れを組んでます。

上記の説明を、担当校の決定時と、ワークショップの1ヶ月前にご案内させていただき、初めて本事業を実施する学校であってもワークショップまでに事前に行える打ち合わせを終えておくことで、本公演に向けて学校と団体が共に児童生徒への効果をイメージして取り組みやすいように準備しています。

また、学校から質問があった際にはe-mailと電話連絡のどちらでも対応できるようにしています。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制

【公演団体名

谷桃子バレエ団

<p>B区分で事業を実施するに当たっての工夫や実施体制</p>	<p>i) B区分に申請する理由</p> <p>私たちは本事業を担当する際に地域性についても重要と考えています。単年での公演の場合、担当地域との連携において、実施校とその近隣エリアだけが文化芸術への興味を持ち、中々地域全体に同様の輪が広がることが難しい部分があると感じています。しかし、同一地域を複数年続けて担当することによって、地域の教育委員会との連携、また地方広報の方の協力を得ることもスムーズになり効果は倍増すると考えます。</p> <p>例えば1年目には、まずワークショップ時に教育委員会や地方広報担当者にお声かけをして、視察していただき、出来るだけ本公演も鑑賞いただいて、実際に児童生徒の反応を見てもらう。翌年度には、同地域で可能であれば、児童の感想や教職員、地元地域の方々の反応を本事業を受けての声として掲載してもらうように輪を広げる。</p> <p>翌々年度には上記の方法によって本事業の周知が進み、期待と文化芸術への想像を向上した中で体験鑑賞を行うことで、私どもの行うバレエ文化だけでなく、さらにほかの文化芸術への興味を持ち、新しい輪を作っていくことで、文化芸術の持つ心を豊かにするエネルギーがより一層児童生徒はもちろん、地域に届くと考えています。</p> <p>上記の方法は1例でしかなく、地域の特性を生かした方法を常に考えながら、柔軟に活動することで、本事業をより効果的に実施できると考えています。</p>
	<p>ii) 複数年にわたり同じ地域で実施する上での工夫や、公演及びワークショップの質を向上させるための工夫</p> <p>工夫に関しては前述のように、地域といかに連動して広めていくかという事に注目し、新しいアイデアを積極的に取り入れながら行っています。</p> <p>例えば、令和4年度のワークショップでは、出来る限り多くの教職員にも参加してもらい、児童生徒の様子と体験することで起きる変化を共有しています。</p> <p>また、ワークショップがやりっぱなしにならないように、各教室で掲示しやすい内容にプログラム内容を一新して、ワークショップの復習と同時に、ワークショップではやらなかった体験にも興味を持てるような内容としており、児童生徒の興味と想像を膨らませた先に本公演を行うという事を心がけて実施しました。</p> <p>例年、ワークショップから本公演までの間に期間が空くと、どうしてもその間に他の学校行事もある為、ワークショップでの体験が新しい行事に記憶の上書きがされ、効果が薄まることが懸念されていました。その点を改善すべく令和4年度より、実施時期を本公演の約1ヶ月前と変更し、より児童生徒の印象に残る体験鑑賞とするように注力しています。</p> <p>上記のスケジュール間となることで担当の先生に焦りや不安が起きないよう、担当する学校決定後には定期的に案内をお送りし、時に重複する内容であってもリマインドすることで、担当者の負担が増えることが無いようにサポートしながら進めています。</p> <p>iii) B区分団体が行う業務) 具体的な実施体制</p> <p>専任者として、従来は1名の事務員を入れていましたが、令和4年度より、より現場の流れを把握しスムーズな打ち合わせや効率的な広報活動が行えるように、長年巡回公演事業に出演経験のあるメンバーを新たに専任者としました。</p> <p>専任者:2名、補助者:3名でチームを形成しています。また、このメンバーはワークショップにも指導者として現地に行くことが出来る実技も兼ね備えたメンバーの為、学校訪問時の効果、地域広報活動での実演も行えることから適任であると考えています。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名 谷桃子バレエ団】
項目内容	<p>※前日仕込みの「有」について、行程(クール)の初回公演実施校のみ、相談の上行っています。やむを得ない事情で前日仕込みが出来ない場合は「無」の対応も可能です。</p> <p>※白鳥の湖ハイライト版 出演者リスト</p> <p>女性ダンサー</p> <p>1日原永美子 11黒木未来 21白井成奈 31渡邊桜子 41永倉凜 2馳 麻弥 12種井祥子 22大川実久 32鳶田紗希 42丸本比奈子 3竹内菜那子 13森本悠香 23蓮池うい 33野田璃緒 43巻田恵瑠 4山口緋奈子 14塚田七海 24手塚歩美 34丸太千恵 44奥山紗季子 5齊藤 耀 15荒川みなみ 25石川真悠 35森田真帆 45齊藤綾乃 6前原愛里佳 16島 亜沙美 26島倉花奈 36奥山あかり 46近藤璃李子 7永井裕美 17北浦児依 27渡部 栞 37寺西優希 8星加梨那 18古澤可歩子 28加仁聖乃 38高谷麗美 9齊藤加津代 19篠塚真愛 29小沼悠季 39石森さくら 10浅野華子 20佐藤舞 30中川桃花 40梶原芽衣</p> <p>男性ダンサー</p> <p>1齊藤 拓 11土井翔也人 2中武啓吾 12池澤嘉政 3今井智也 13清水豊弘 4三木雄馬 14飯田 嵐 5檜山和久 15松尾力滝 6吉田邑那 16田淵玲緒奈 7市橋万樹 17昂師吏功 8田村幸弘 18北浦璃大 9菅沼寿一 19安田 幹 10服部 響 20森脇崇行</p> <p>※出演者は34名になります。 本リストに記載のあるメンバーから選抜いたします。 。※ピアニストが別途1名 ※令和5年度の新入団員によって変動する場合があります。</p>	

